※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２６

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	（学）美術探究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

描写力の向上に重点を置き、繰り返し制作をすることで観察力と表現力の向上を目指す。さまざまな描画材料を用いながらデッサンを通じて自分自身の観察力や空間を表現する力を高める

２　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
⑴対象や事象をとらえる造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。
⑵造形的な良さや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
⑶主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対象の形体や質感それが存在する空間などを的確に把握し、 観察する力と描写力の向上を目指せたか。	物体の形状や材質の違いを理解し、表現する姿勢を身につける。さまざまな描画材料の特性を理解して、構図や構成を表現する力を伸ばすことができたか。	自分自身のイメージをもてているか。また他者の表現を理解する姿勢、自分の個性を確認し表現する姿勢があるか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	表現基礎	鉛筆削り グレースケール 基本的な幾何形体のデッサン ・観る姿勢 ・全体の把握 ・比率バランスの発見 ・明暗の表現	a：対象への客観的な観察、描写を行う。 b：明暗の表現を行い、質感の違いを表現する。 c：集中して制作する。	ワークシート 作品	作品	取り組みの姿勢 作品の振り返り
	クロッキー	お互いがモデルになっての人物クロッキー 鉛筆	a：対象への客観的な観察、描写を行う。 b：明暗の表現を行い、質感の違いを表現する。 c：集中して制作する。	ワークシート 作品	作品	取り組みの姿勢 作品の振り返り
二学期	コンテデッサン	質感を意識してデッサン ○コンテパステル 「ガラス」コップ、「ビン」、「金属」ボ―ル、「手」 ○色鉛筆 「野菜」、「果物」、「柿」	a：対象への客観的な観察、描写を行う。 b：明暗の表現を行い、質感の違いを表現する。 c：集中して制作する。	ワークシート 作品	作品	取り組みの姿勢 作品の振り返り
	水墨画	墨だけの濃淡を使った表現 「松竹梅」、「龍」、 「葡萄」、「富士山」	a：対象への客観的な観察、描写を行う。 b：明暗の表現を行い、質感の違いを表現する。 c：集中して制作する。	ワークシート 作品	作品	取り組みの姿勢 作品の振り返り
三学期	鉛筆デッサン	複数のモチーフを組み合わせてのデッサン	a：対象への客観的な観察、描写を行う。 b：明暗の表現を行い、質感の違いを表現する。 c：集中して制作する。	ワークシート 作品	作品	取り組みの姿勢 作品の振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度